

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	トイレの声かけ誘導等は本人や他者にも配慮しているのだが、入居者様の状態報告や排泄に関する情報交換を、入居者様もいる共用空間で行い、配慮が足りなかった。	入居者様に配慮した情報交換を行う。	リビングなど共用空間で情報交換が必要な際は、声の大きさにも注意し、聞こえないよう配慮する。また「便」「尿」といった言葉を別の言葉に置き換えるなど工夫し配慮する。	1ヶ月
2	23	現状では未だ抽象的なケアプランになっているため、今後は更に、入居者様の言葉や希望をとり入れた具体的なケアプランの作成が望まれる。	本人の言葉や思いをとり入れた具体的なケアプランを作成する。	「ニーズ」は本人の希望を本人の言葉で作成。「支援内容」はより具体的に作成する。外出支援を行う場合は「本人の望む行き先」「外出支援回数目標数」を具体的に記入作成する。（「自宅周辺へ2回/週」など）	12ヶ月
3	38 39	火災や災害に向けた訓練に普段より取り組んでいるが、地域住民と連携した訓練はあまり行っておらず、地域との協力体制をより強化することが望まれる。	火災や災害の避難時に地域住民との連携・協力体制を強化する。	地域住民の方にGH避難訓練に参加協力して頂き、ホームの造りや避難状況を知っていただくことで、災害時に、よりスムーズに避難できるよう連携強化を図る。	24ヶ月
4	35	緊急時(大きなケガや誤嚥、窒息、また意識消失など)に適切な対処が行えるよう、対応マニュアルを備え周知しているが、対応訓練までは行っておらず、定期的、計画的な対応訓練を行うことが望まれる。	定期的な緊急時対応訓練を開催する。	毎月の定例会議の際に、ケガや誤嚥、意識喪失など、それぞれの状況にあわせた緊急時対応のロールプレイ訓練を行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。